

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

 **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

 **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

 **ポイント** ●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※ ●取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

 **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>

警告

- 本製品は簡易型駐輪場です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的に、みだりに改造・変更をしないでください。

注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 設置場所の確認をしてください。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか確認してください。
 - ・施工場所の気象条件(風、雪など)に合った製品かどうか確認してください。
 - ・建物の屋根からの雪の落下を、直接受けない位置かどうか確認してください。
 - ・強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道などの施工は避けてください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が製品内(屋根・パネルなどで囲んだ内部)にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒や塗装劣化・剥離(はくり)のおそれがあります。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋込み深さを確保してください。
- 崖縁などの高低差がある場所には設置しないでください。また、片流れタイプの場合、風当たりの強い場所では、風にあおられない向きに取付けてください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
キューブパークを施工する場合は、本取付説明書と合わせて、「キューブポート (D344)」・「キューブポート ーサイド パネル (D352)」・「輪止め (D384)」の取付説明書もお使いください。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 商品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 柱の移動は弊社指定範囲内にしてください。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が垂鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 腐食のおそれのある接着剤や化学製品を使用する場合は、製品と接触しないようにするか、接触する部分を完全に養生してください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
各部材に弊社指定以上の孔加工をしないでください。強度低下のおそれがあります。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めています。現場によって(堅牢な地盤、軟弱な地盤など)基礎部のコンクリートの量(体積)を十分配慮してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。

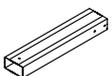
<電気配線工事について>

⚠ 注意

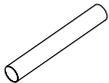
- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。
- AC100V用の照明器具は、第3種接地工事を行なってください。
- DC12V仕様の照明器具には、専用トランスと電源ケーブルが必要です。AC100Vを接続しないでください。
- 照明用配線と信号線は、電線管による隔離をしてください。
- AC100V用の照明器具には、周波数50Hz用と60Hz用の2タイプがあります。仕様地域の周波数のものを使用してください。

■ 梱包明細表

【1】 主柱セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	連棟用 1本入
柱		2	1

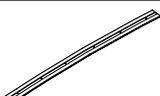
【3】 縦樋セット

名 称	略 図	員 数
縦樋 L=3100 φ40		1

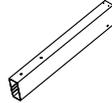
【5】 幅セット ※側枠が付くタイプのセットです。

名 称	略 図	員 数	
		22型	29型
中間アーチ		2	3
中間アーチカバー		2	3
端部アーチ		2	2
端部アーチカバー		2	2
側枠		2	2
後付けビート		2	2

【7】 連棟用アーチセット

名 称	略 図	員 数	
		22型	29型
中間アーチ		3	4
中間アーチカバー		3	4

【2】 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
梁		2	1

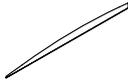
【4】 ブラケットセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	1本入
ブラケット		2	1

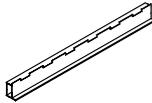
【6】 アーチセット ※側枠が付かないタイプのセットです。

名 称	略 図	員 数	
		22型	29型
中間アーチ		2	3
中間アーチカバー		2	3
端部アーチ		2	2
端部アーチカバー		2	2

【8】 妻パネルセット

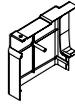
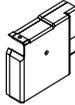
名 称	略 図	員 数
妻パネル		2

【9】 長さセット

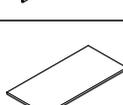
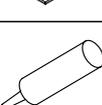
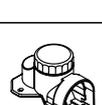
名 称	略 図	員 数
前枠		1
後枠		1
母屋		2

■梱包明細表 つづき

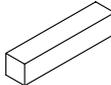
【10】 柱-梁組立部品セット

名 称	略 図	員 数
ブラケットカバーR		2
ブラケットカバーL		2
梁キャップ		2
プッシュボタン		4
アンカー棒		2
【10-1】 φ5×55タッピンサラネジ		2
【10-2】 M8×25六角ボルト (SW+PW)		14
取付説明書	—	1
取扱説明書	—	1

【11】 _1 屋根組立部品セット ※カラー・ウッド調用を含む側枠が付くタイプの屋根組立部品セットです。

名 称	略 図	員 数
		ミニ 22・29用
コーナーキャップR		2
コーナーキャップL		2
母屋金具A L=32		4
側枠金具A L=30.5		2
止水シール		10
ブチルシーリング材		1
横樋キャップ 前		1

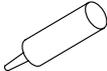
【11】_1 屋根組立部品セット つづき

名 称	略 図	員 数
		ミニ
		22・29用
横樋キャップ 後		1
横樋パッキン		2
横樋金具 前		1
横樋金具 後		1
雨樋孔ふさぎキャップ		2
アタッチメントパッキン		2
ドレンエルボ φ40用		1
92° エルボ φ40用		2
でんでん		3
接着剤		1
カラー用クッション材 (※)		4
【11-1】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4
【11-2】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		60
【11-3】φ4×13ナベピアスネジ		30
【11-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12
【11-5】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8
【11-6】φ4平座金		8
【11-7】φ4×8トラス小ネジ		4
取付説明書 D385	—	1

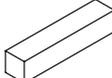
※カラー・ウッド調用部品セットにのみ同梱されます。

■梱包明細表 つづき

【11】_2 屋根組立部品セットB ※側枠が付かないタイプの屋根組立部品セットです。

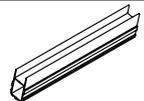
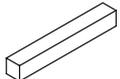
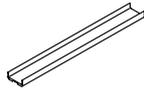
名 称	略 図	員 数
		ミニ
		22・29用
前後枠キャップR		2
前後枠キャップL		2
母屋キャップR		2
母屋キャップL		2
母屋金具A L=32		4
止水シール		10
ブチルシーリング材		1
横樋キャップ 前		1
横樋キャップ 後		1
横樋パッキン		2
横樋金具 前		1
横樋金具 後		1
雨樋孔ふさぎキャップ		2
アタッチメントパッキン		2

【11】_2 屋根組立部品セットB つづき

名 称	略 図	員 数
		ミニ 22・29用
ドレンエルボ φ40用		1
92° エルボ φ40用		2
でんでん		3
接着剤		1
カラー用クッション材 (※)		4
【11-1】φ5×16トラスタッピンネジ3種		4
【11-2】φ4×10ワッシャーヘッドネジ		60
【11-3】φ4×13ナベピアスネジ		24
【11-4】φ4×12トラスタッピンネジ3種		12
【11-5】φ4×50ナベタッピンネジ1種		8
【11-6】φ4平座金		8
【11-7】φ4×8トラス小ネジ		4
【11-8】φ4バネ座金		4
【11-9】φ4平座金		4
取付説明書 D385	—	1

※カラー・ウッド調用部品セットにのみ同梱されます。

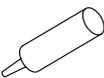
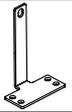
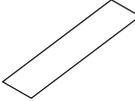
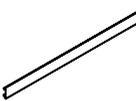
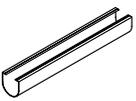
【12】 連棟部材セット

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
		18・21用			18・21用
前後枠スリーブ		2	母屋スリーブ		2
カラー用クッション材 (※)		2	母屋スリーブスペーサー		2

※カラー・ウッド調用部品セットにのみ同梱されます。

■梱包明細表 つづき

【13】連棟部品セット

名 称	略 図	員 数		名 称	略 図	員 数	
		ミニ				ミニ	
		22・29用				22・29用	
母屋金具A L=32		4		【13-1】φ4×13ナベテクスネジ		52	
止水シール		8		【13-2】φ5×16トラス タッピンネジ3種		4	
ブチルシーリング材		1		【13-3】φ4×10ワッシャー ヘッドネジ		60	
孔隠しシール φ10		16		【13-4】φ4×12トラス タッピンネジ3種		12	
横樋キャップ 前		1		【13-5】φ4×50ナベ タッピンネジ1種		8	
横樋キャップ 後		1		【13-6】φ4平座金		8	
横樋パッキン		2		【13-7】φ4×16サラピアスネジ		2	
横樋金具 前		1		【14】屋根材セット			
横樋金具 後		1		名 称	略 図	員 数	
雨樋孔ふさぎキャップ		2		屋根パネル		3枚入	4枚入
アタッチメントパッキン		2		カラー部材 L=3000		1	2
ドレンエルボ φ40用		1		カラー部材つなぎ材		2	1
92° エルボ φ40用		2		【15】カラー部材セット			
でんでん		3		名 称	略 図	員 数	
接着剤		1		横樋		1	

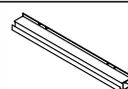
【17】側面部品セット

名 称	略 図	員 数
コーナーブロックR		2
コーナーブロックL		2
中棧ブロック		2
サイドスクリーンコーナー金物		3
コーナー柱サイドスクリーン固定金物		3
コーナー柱キャップ		1
コーナー柱金物		1
アンカー棒		1
【17-1】 M8×12六角ボルト 並		3
【17-2】 M8平座金		9
【17-3】 M8バネ座金		9
【17-4】 M8袋ナット		9
【17-5】 M6×70六角ボルト		1
【17-6】 M6平座金		2
【17-7】 M6バネ座金		1
【17-8】 M6袋ナット		1
【17-9】 φ4×19ナベピアスネジ		5
【17-10】 φ4×13ナベピアスネジ		16
【17-11】 φ4×12トラス タッピンネジ		4

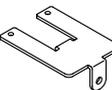
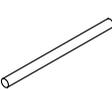
【21】パネルセット

名 称	略 図	員 数	
		3枚入	4枚入
パネル		3	4

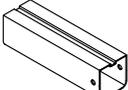
【18】波板用横棧セット 背面・側面

名 称	略 図	員 数	
		H12用	H15用
上棧		1	1
中棧		1	2
下棧		1	1

【19】波形用側面部品セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱金物		1
下棧固定金物		1
コーナー柱キャップ		1
波形フック		22
アンカー棒		1
【19-1】 φ4×20ナベタッピンネジ		4
【19-2】 M6×70六角ボルト		1
【19-3】 M6平座金		2
【19-4】 M6バネ座金		1
【19-5】 M6袋ナット		1
【19-6】 φ4×19ナベピアスネジ		8
【19-7】 φ4×13ナベピアスネジ		4
【19-8】 φ4×12トラス タッピンネジ		4

【20】コーナー柱セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱		1

1. 各部の名称および取付順序

1-1 本体の施工

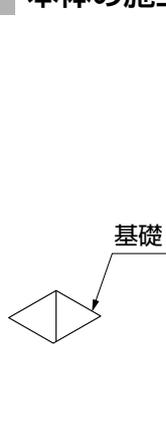


図1-1 基礎の施工

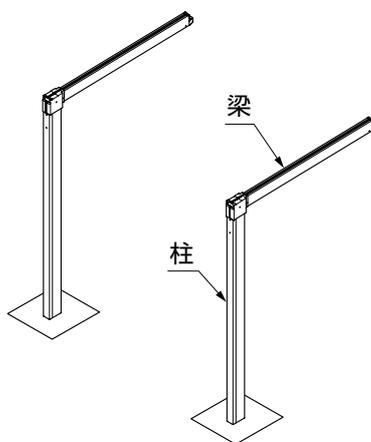


図1-2 柱と梁の取付け

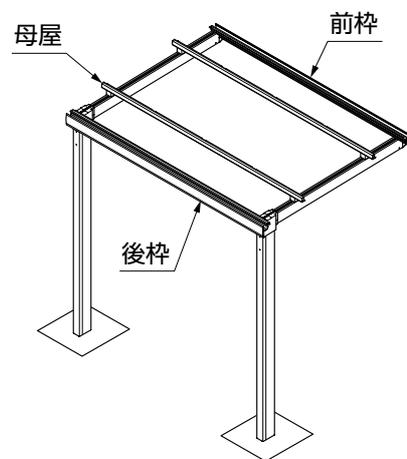


図1-3 後枠・前枠・母屋の取付け

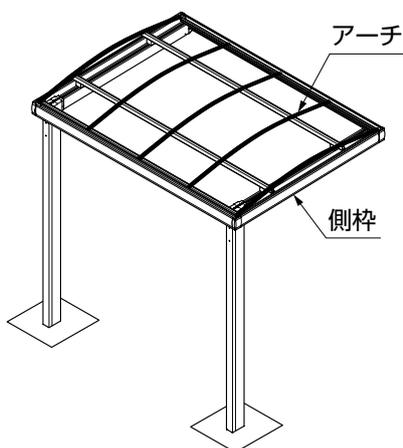


図1-4 側枠・アーチの取付け

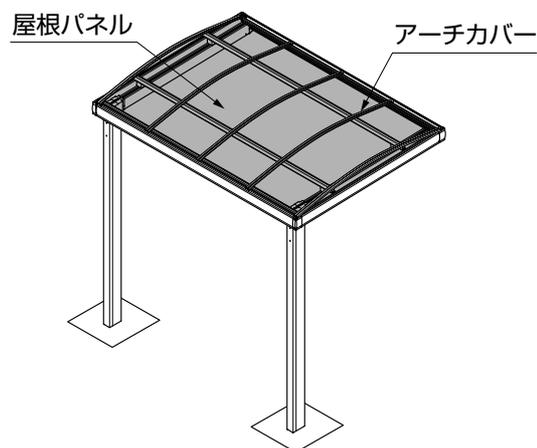


図1-5 屋根パネル・アーチカバーの取付け

1-2 サイドパネル・側面パネルの取付け

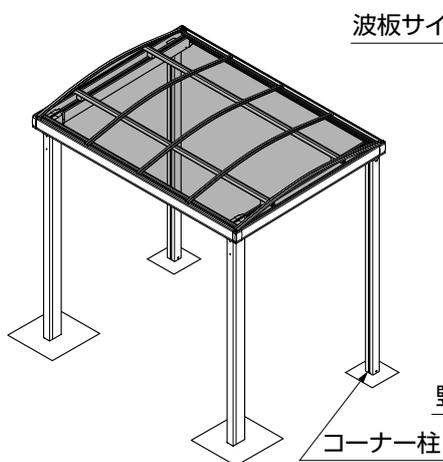


図1-6 コーナー柱の取付け

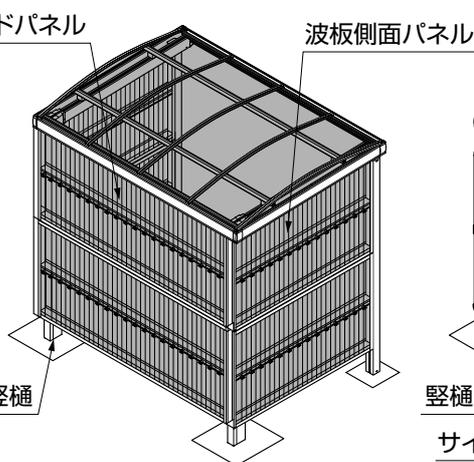


図1-7 波板の場合
サイドパネル・側面パネル・
縦樋セットの取付け

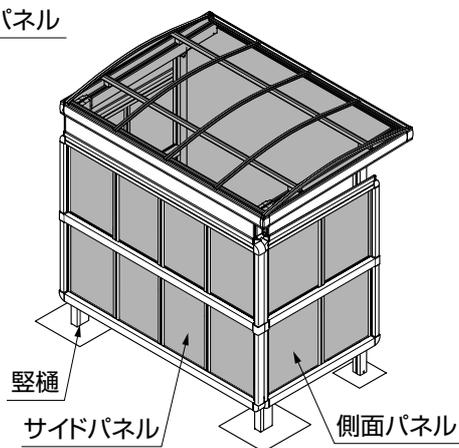


図1-8 パネルの場合
サイドパネル・側面パネル・
縦樋セットの取付け

2. 基本寸法

2-1 基本タイプ

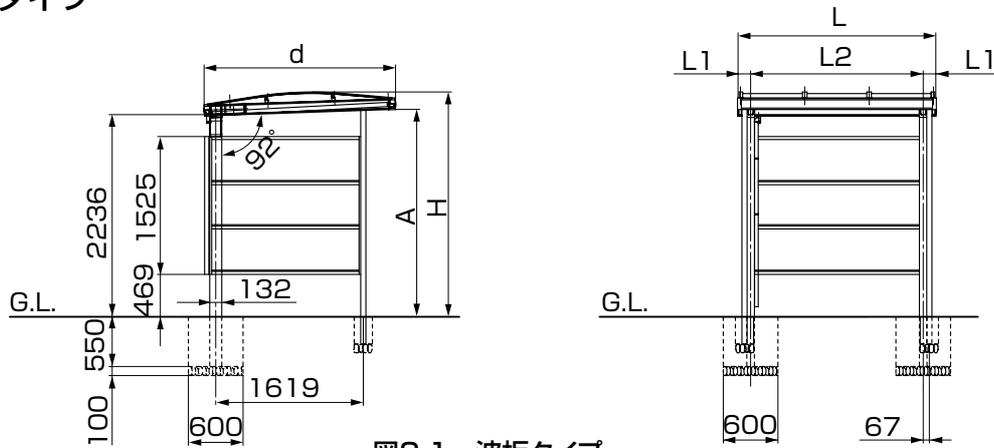


図2-1 波板タイプ

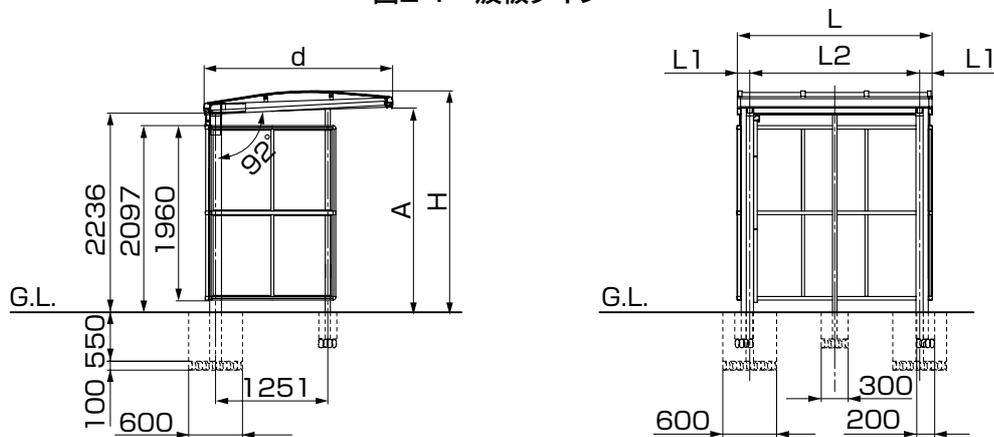


図2-2 パネルタイプ

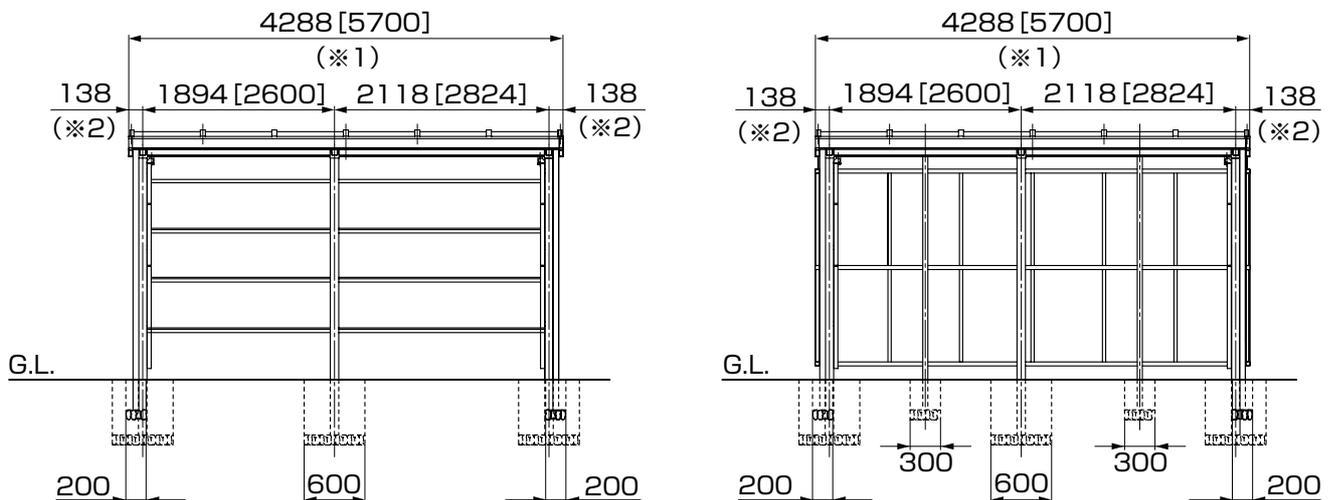
サイズ呼称	d	H	A
18	1807	2473	2282
21	2107	2486	2292

間口	標準			プラス		
	L	L1	L2	L	L1	L2
22型	2170	138	1894	2182	144	1894
29型	2876	138	2600	2888	144	2600

2-2 縦連棟タイプ

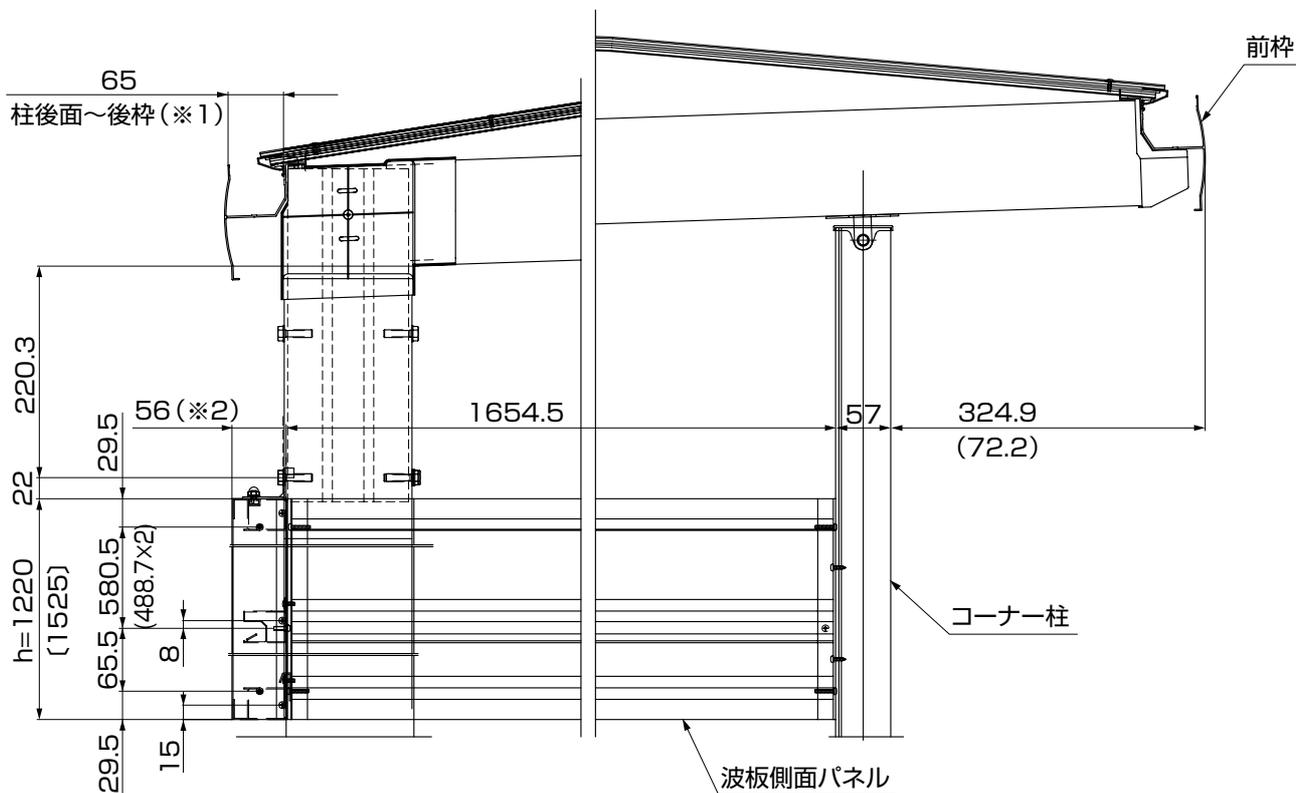
※図はL=22サイズを示します。[]はL=29サイズを示します。

※図は標準仕様です。プラス仕様の場合は、※1寸法に12mm、※2寸法に6mm足してください。



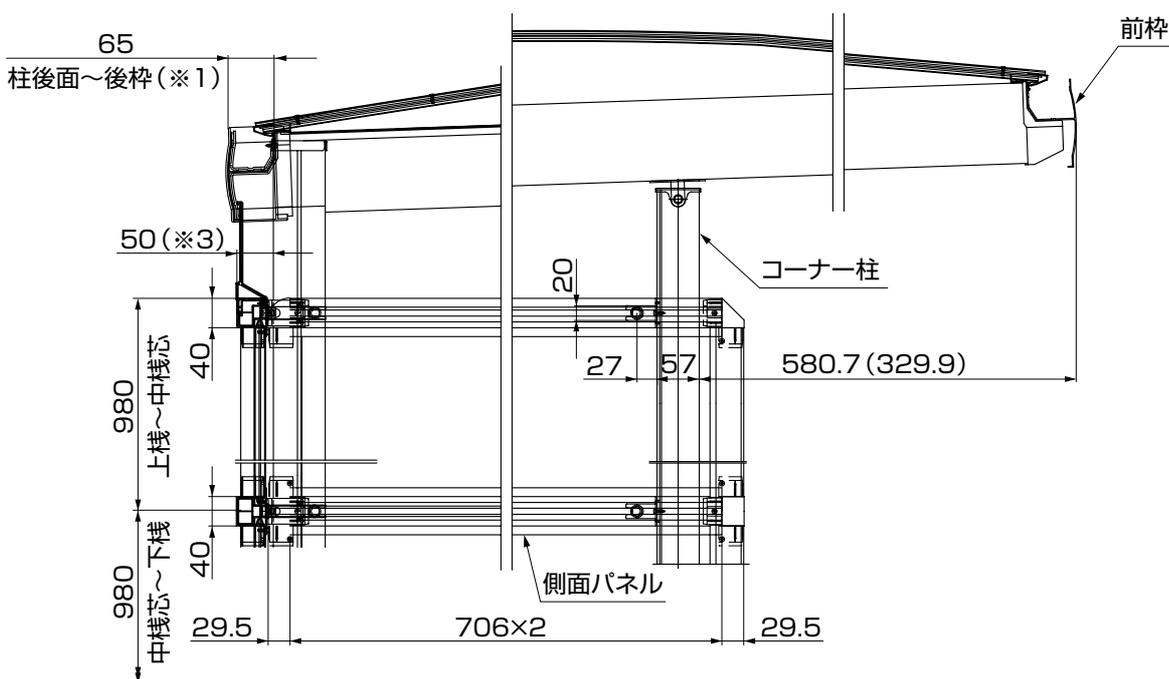
2-3 波板タイプ断面図

- ※本図は、d=18サイズを示します。()はd=21サイズを示します。
- ※本図は波板サイドパネルh=12サイズを示します。[]はh=15サイズを示します。
- ※柱後面～後枠外寸法は65mm(※1)、柱後面～パネル外寸法は56mm(※2)です。



2-4 パネルタイプ断面図

- ※本図は、d=18サイズを示します。()はd=21サイズを示します。
- ※柱後面～後枠外寸法は65mm(※1)、柱後面～パネル外寸法は50mm(※3)です。



3. 基礎の施工

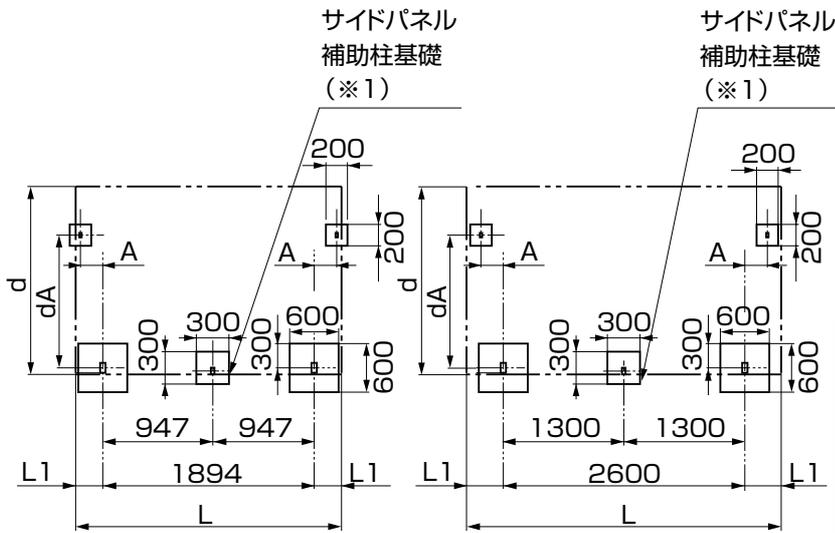


図3-1 22サイズ

図3-2 29サイズ

表3-1 墨出し位置

サイズ 呼称	d	波板タイプ		パネルタイプ		間口	標準		プラス	
		dA	A	dA	A		L	L1	L	L1
18	1801	1619	87	1251	67	22型	2170	138	2182	144
21	2101	1619	87	1251	67	29型	2876	138	2888	144

① 柱埋込み位置を出して基礎孔を掘ってください。

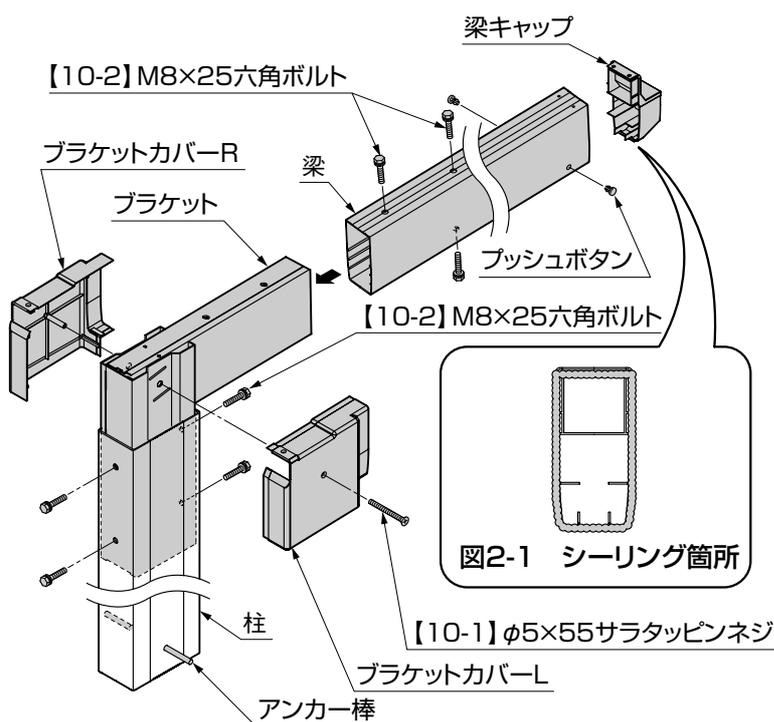
補足

- 柱の移動はできません。
- 図の二点鎖線は屋根の投影図を示します。
- サイドパネル補助柱基礎はパネルタイプに必要です。(※1)
- 後枠は、柱から65mm外に出ています。

ポイント

- コーナー柱、サイドパネル補助柱の基礎固めは必ず最後に行なってください。

4. 柱と梁の取付け



- ① 柱にアンカー棒を差込んでください。
- ② 柱にブラケットを【10-2】で取付けてください。
- ③ 梁をブラケットに【10-2】で取付けてください。
- ④ ブラケットカバー-R、ブラケットカバー-Lを【10-1】で取付けてください。
- ⑤ 梁キャップにシーリング材を充てんして、梁に取付けてください。(図2-1参照)
- ⑥ プッシュボタンを梁に取付けてください。

ポイント

- 「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に縦樋を取付けると、表示が見えなくなります。縦樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。

補足

- 指定の箇所シーリングしてください。(図2-1参照)
- 同梱のプチルシーリング材を使用してください。

5. 屋根周りの取付け

補足

- 屋根部の取付けは、「キューブポート(D344)」の **2 基本の施工方法** の「3.カラー部材の組付け」から「8.竖樋の取付け」を参照してください。

6. 縦連棟の施工方法

6-1 基礎の施工

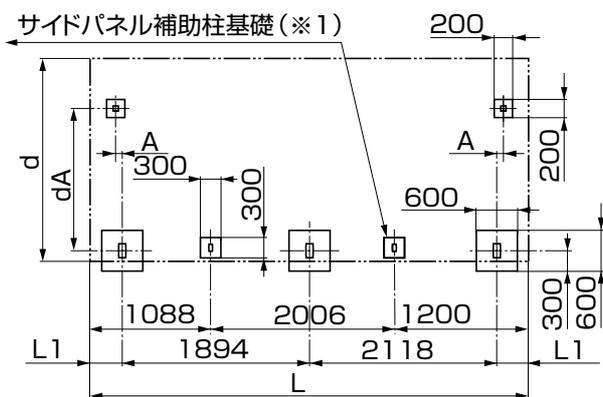


図6-1 22サイズ+22サイズ

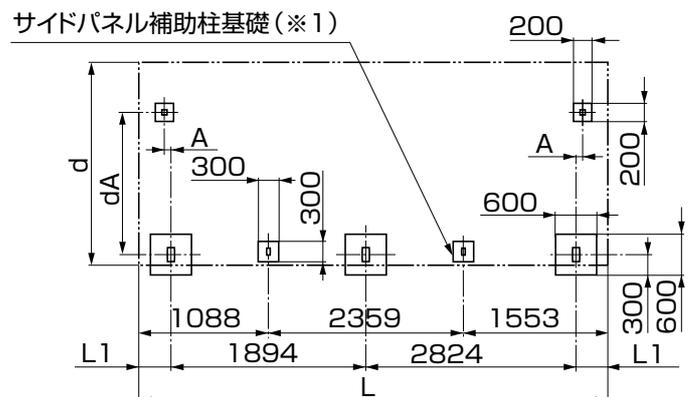


図6-2 22サイズ+29サイズ

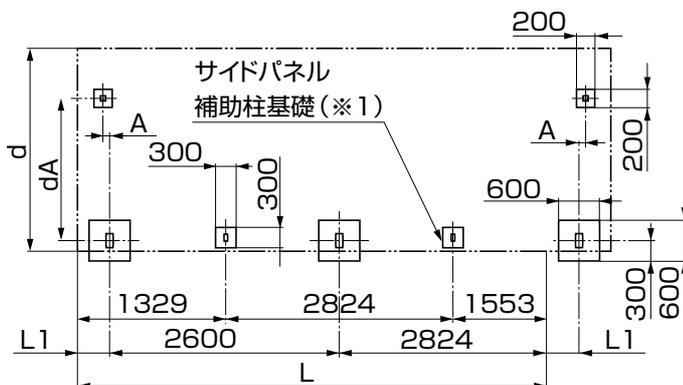


図6-3 29サイズ+29サイズ

表6-1 墨出し位置

サイズ呼称	d	波形タイプ		パネルタイプ	
		dA	A	dA	A
18	1801	1619	87	1251	67
21	2101	1619	87	1251	67

間 口	標準		プラス	
	L	L1	L	L1
22+22	4288	138	4300	144
22+29	4994	138	5006	144
29+29	5700	138	5712	144

- ①柱埋込み孔の位置を出して基礎孔を掘ってください。

ポイント

- 連棟柱を連棟部の中心に持ってくるとパネルの中棧と柱が干渉し、施工が困難になりますのでご注意ください。

補足

- 端部柱は柱移動ができません。連棟柱は、±95mm以内で可能です。
- 基礎構造については基本タイプを参照してください。
- 図の二点鎖線は、屋根の投影図を示します。
- サイドパネル補助柱基礎はパネルタイプに必要です。(※1)
- 後枠は、柱から65mm外に出ています。

6-2 本体の連結

補足

- 縦連棟の連結方法は、「キューブポート(D344)」の **4 縦連棟・14延長の施工方法** の「2.本体の連結」を参照してください。

7. コーナー柱の取付け

ポイント

- コーナー柱を取付ける位置については、「3.基礎の施工」を参照してください。
- 波板パネル仕様では、「**9-2 波板パネルタイプ (1) 側面サイドパネルの取付け**」で側面サイドパネルの位置出しを行ってから、コーナー柱金物の取付けをしてください。

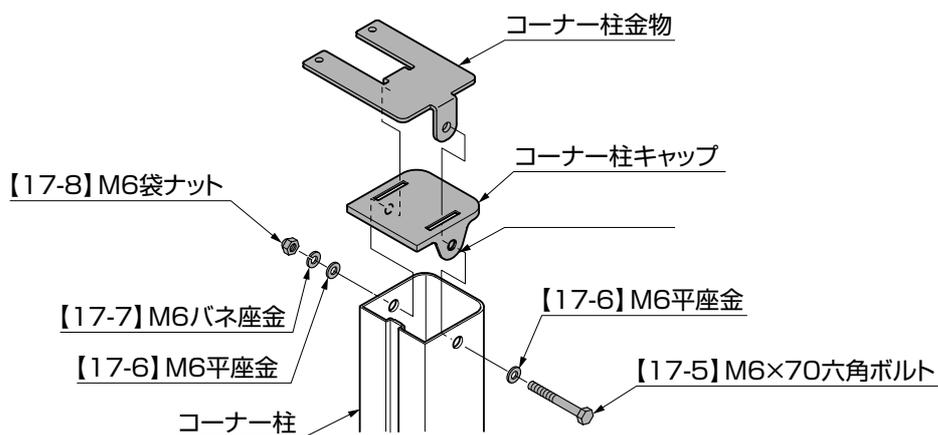


図6-1

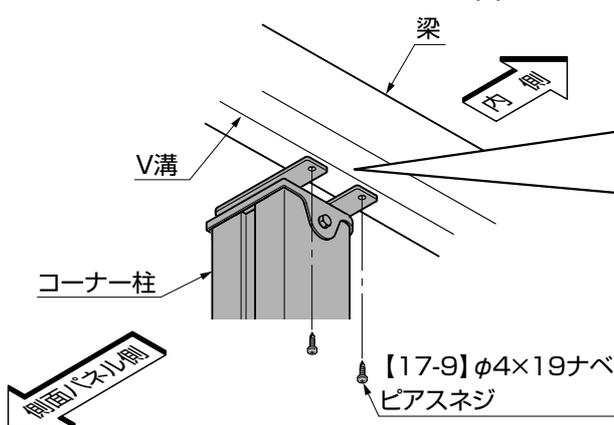


図6-2

- ①コーナー柱にコーナー柱キャップ、コーナー柱金物を取付けてください。(図6-1参照)
- ②コーナー柱にアンカー棒を取付け、コーナー柱を建込んでください。
- ③コーナー柱金物をカーポート本体の梁に【17-9】で取付けてください。(図6-2参照)

ポイント

- コーナー柱を梁に取付ける際、パネル仕様はV溝に合わせて取付けてください。波板仕様はV溝から20mmずらして取付けてください。

8. サイドパネルの取付け

補足

- サイドパネルの取付けは、「キューブポート - サイドパネル (D352)」の取付説明書を参照してください。

9. 側面パネルの取付け

9-1 パネルタイプ

(1) サイドスクリーンコーナー金物・コーナー柱サイドスクリーン固定金物の組立て

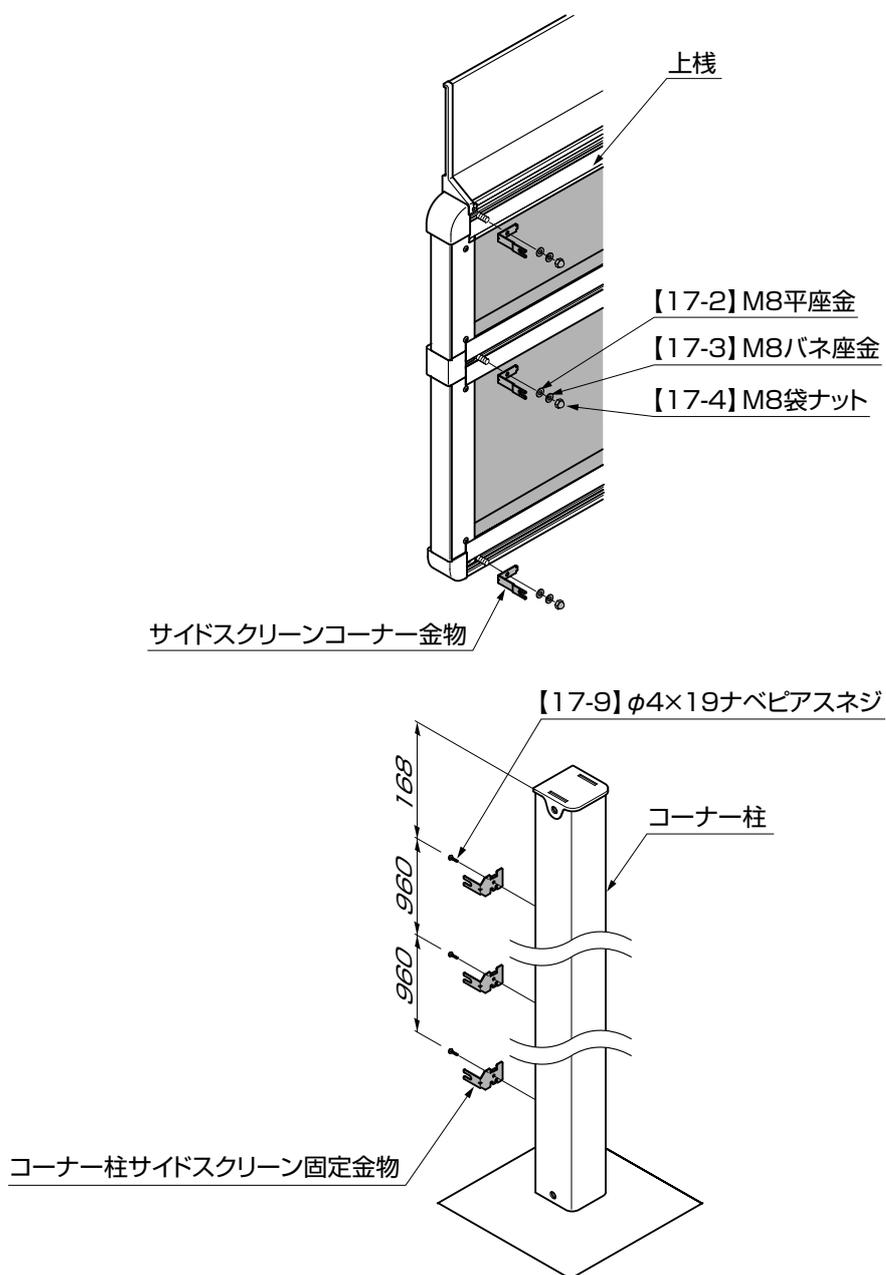


図9-1

- ① 背面サイドパネルにコーナー金物、コーナー柱に固定金物をそれぞれ取付けてください。

(2) 側面パネルの組立て

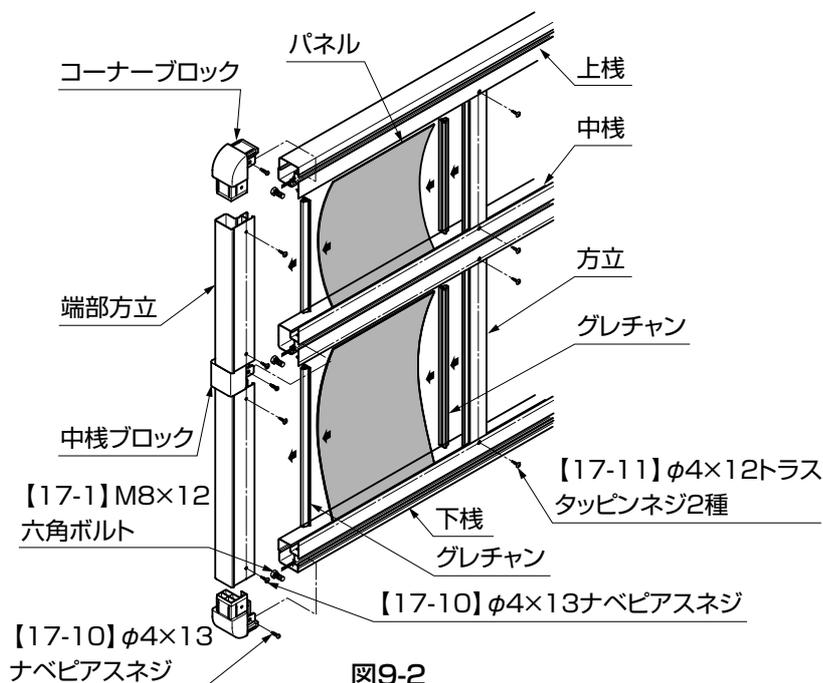


図9-2

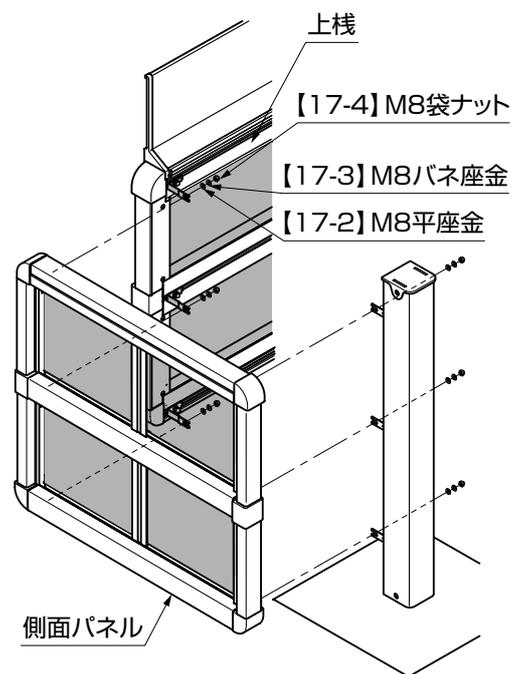


図9-3

- ①上棧・中棧・下棧に各2本づつ【17-1】を差込んでください。
- ②側面パネルを組立ててください。(図9-2参照)
- ③側面パネルを背面のサイドパネル、コーナー柱に固定してください。(図9-3参照)

9-2 波板パネルタイプ

(1) 側面サイドパネルの取付け

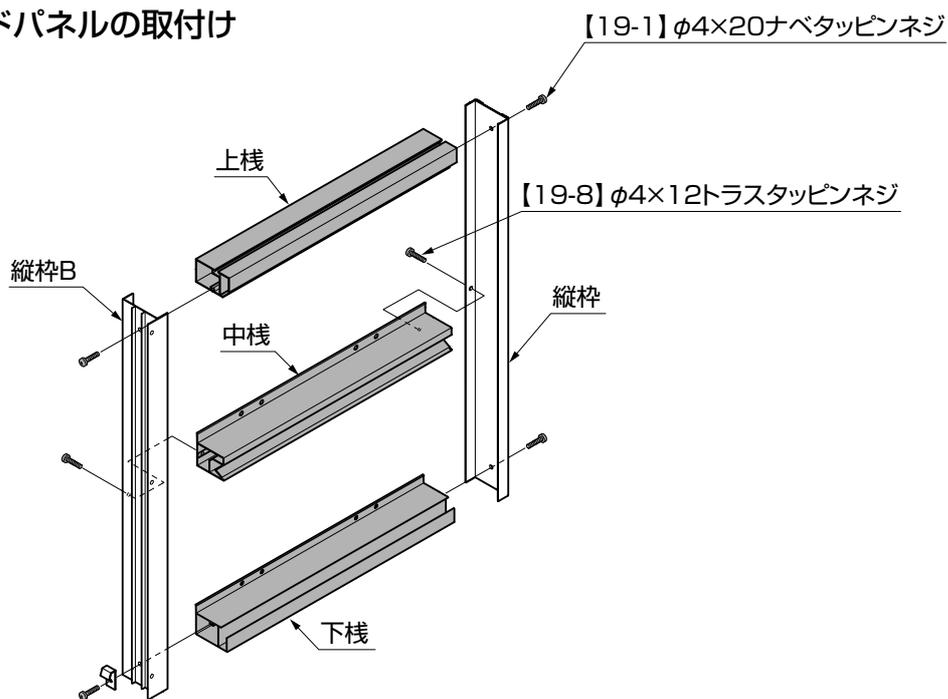


図9-4

- ①サイドパネルの部材を組立ててください。(図9-4参照)

9. (つづき)

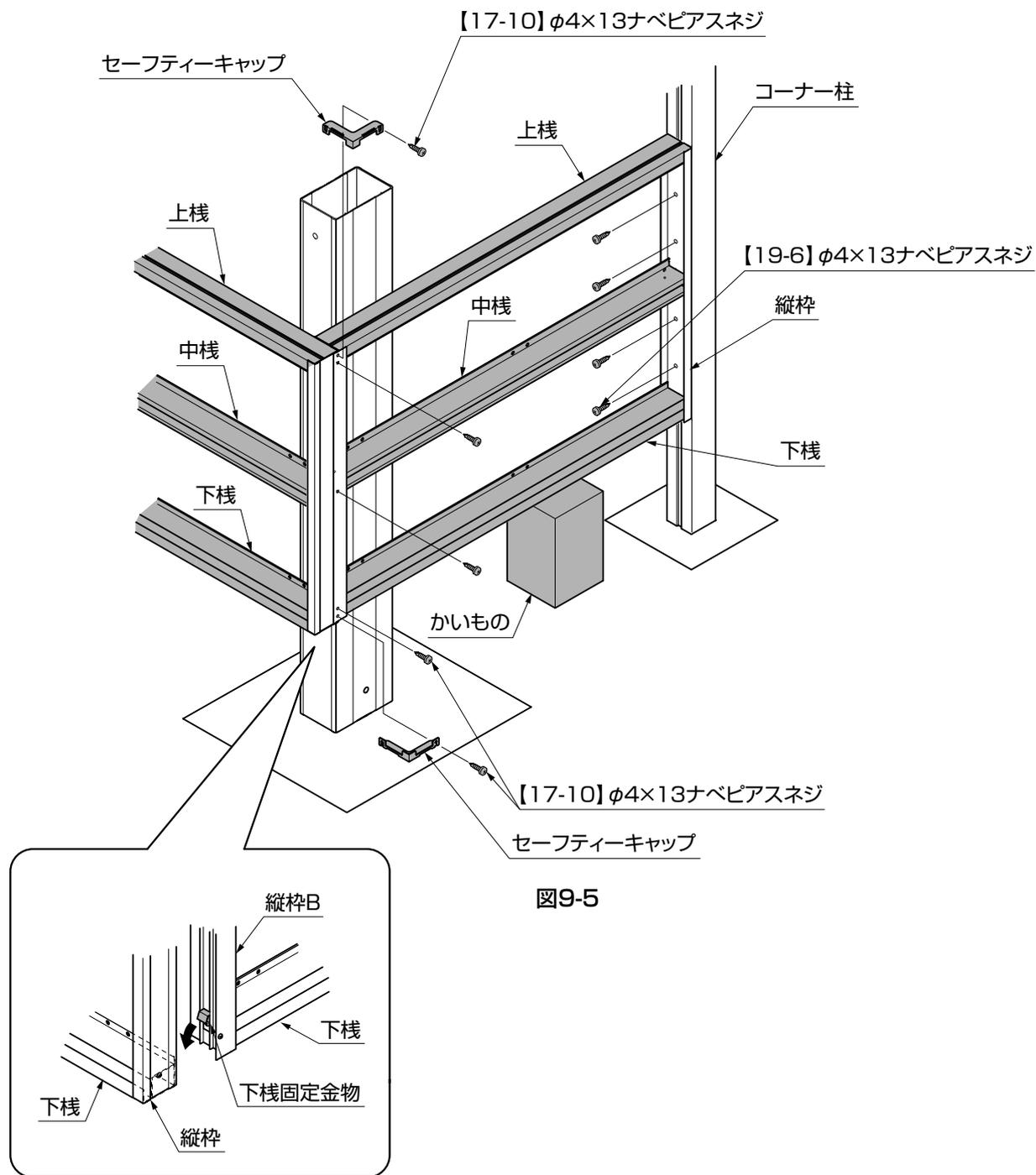


図9-5

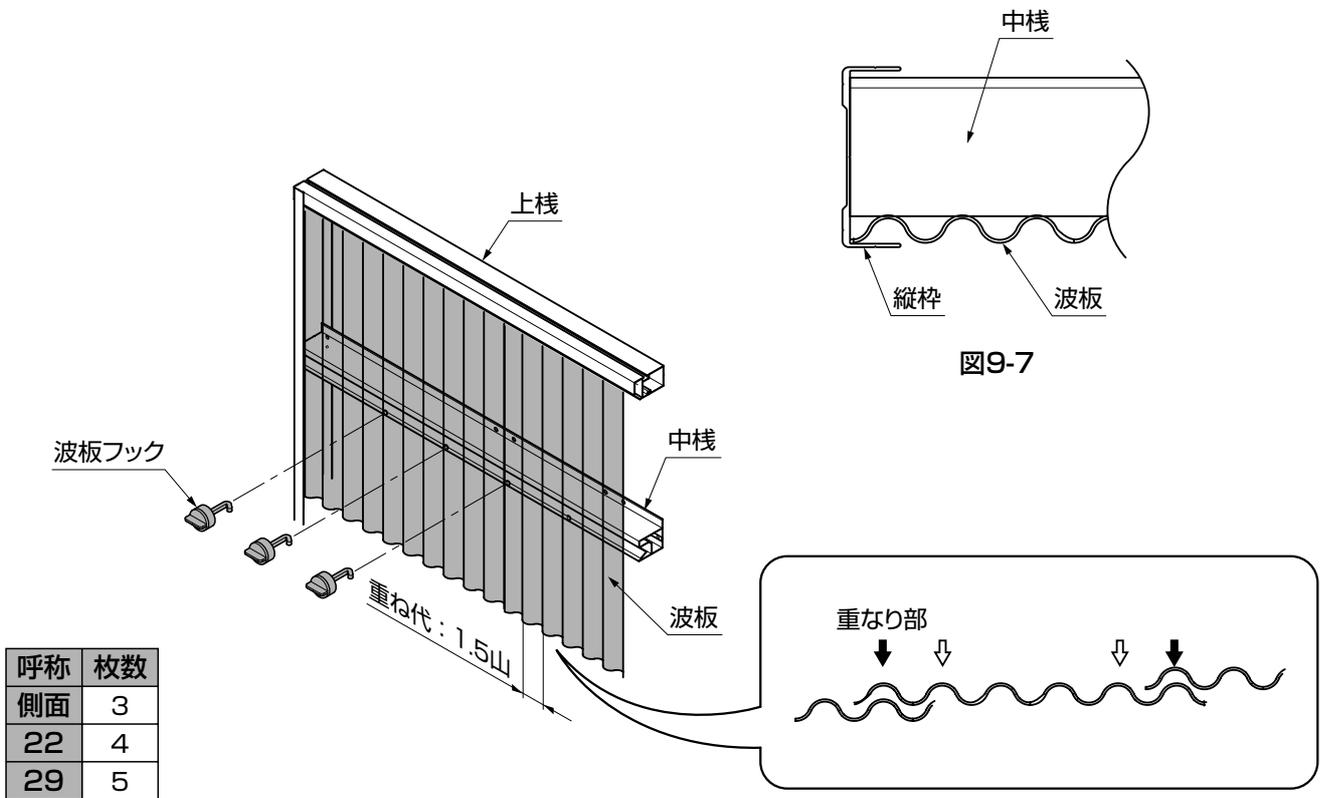
- ②組んだサイドパネルを背面サイドパネルの下棧に引掛け、下にかいものをして背面サイドパネルに固定してください。(図9-5参照)
- ③コーナー柱の位置を出し、梁に固定してください。

補足

- 「7.コーナー柱の取付け」を参照してください。

- ④側面サイドパネルの水平を出して、コーナー柱に固定してください。
- ⑤セーフティキャップをサイドパネルのコーナー部の上下に取付けてください。

(2) 波板の取付け



呼称	枚数
側面	3
22	4
29	5

図9-6 波板の取付け

①それぞれのサイドパネルに波板をセットして波板フックで取付けてください。

🔑 ポイント

- 母屋に沿って、波板の重なり部および中央の4ヶ所に孔をあけて、波板フックで止めてください。(図9-6参照)

✎ 補足

- 波板の上下を確認し、縦枠との納まりを図のようにしてください。(図9-7参照)

10. サイドパネル縦連棟の施工方法

✎ 補足

- サイドパネルを連棟させる場合は、「キューブポートーサイドパネルー(D352)」の取付説明書を参照してください。

11. 輪止め取付け

✎ 補足

- 輪止めの取付けは、「輪止め(D384)」の取付説明書を参照してください。

